

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010301010100		事業の種類	3	
年度	29	事務事業名	生涯教育企画調整事業		予算事業名	社会教育事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課		
施策名(中)		いつでもどこでも学べる環境をつくる		担当課長	番匠 真由美	担当者名	勝山 護
取組み事項		生涯にわたって学べる体制を整備する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		社会教育法第15条及び第18条、生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	職員、関係課、文化団体、社会教育団体等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	重複事業とならないように日程・内容調整を図り、効果的かつ効果的な生涯教育事業を推進する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		国・県事業や市及び関係団体等、社会教育事業の企画・調整を行う				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	社会教育委員会	回数	3	1	1	1

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員			-		-		-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	345,254	348,426	101	371,112	107	341,992	92	
	事業費	2,077,560	1,955,120	94	1,942,760	99	2,088,000	107	
	合計	2,422,814	2,303,546	95	2,313,872	100	2,429,992	105	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,422,814	2,303,546	95	2,313,872	100	2,429,992	105	
合計	2,422,814	2,303,546	95	2,313,872	100	2,429,992	105		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		社会教育委員会							
指標説明(式)		実施回数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
回数	目標	3	1	33.3	1	100.0	1	100.0	
	実績	3	1	33.3	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		公民館運営審議会開催回数							
指標説明(式)		回数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			

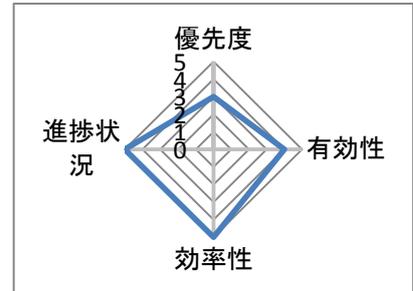
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	重複事業による無駄・無理を排除し、効率的な事業を展開している	4
	市民サービス	社会教育委員会を開催し、委員の意見を反映させた施策を実施している	
効率性	執行体制の効率性	公民館運営審議会と統合し、効率的な運営を行っている	5
	コストの節減	公民館運営審議会との統合により、会議開催が減となっている	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定どおり	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	公民館運営審議会と内容が重複する部分があり、統合した。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	社会教育委員会との連携を図る。

配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010301010200		事業の種類	4	
年度	29	事務事業名	相生っ子学び塾事業		予算事業名	相生っ子学び塾事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会生涯学習課	
施策名(中)		いつでもどこでも学べる環境をつくる			担当課長	番匠 真由美	担当者名 山本 健太
取組み事項		生涯にわたって学べる体制を整備する			実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市内小学校5, 6年生及び保護者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	将来を担う子どもたちに生きる力を付けさせる					

2 事業の概要 Do

実施の概要		基礎学力の定着・自学自習の習慣づけを行うことを目的に「現代版寺子屋」として開始。地域のボランティアの参加により、家庭の経済的負担なしで希望者が参加でき、対象を5, 6年生とした国語・算数、英語、珠算の講座を実施。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	開設日数(国・算)	回	190	203	188	191	
	開設日数(英)	回	95	126	125	126	
	開設日数(珠算)	回	18	18	18	18	

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.380	0.380	100	0.380	100	0.380	100	
	臨時職員	0.688	0.688	100	0.354	51	0.656	185	
支出内訳	人件費	4,921,486	5,005,342	102	4,236,388	85	5,225,824	123	
	事業費	4,061,975	4,491,602	111	4,108,179	91	5,258,000	128	
	合計	8,983,461	9,496,944	106	8,344,567	88	10,483,824	126	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	1,281,200	1,413,000	110	1,588,200	112	1,787,000	113	
	市債			-		-		-	
	その他	115,200	132,000	115	122,400	93	120,000	98	
	一般財源	7,587,061	7,951,944	105	6,633,967	83	8,576,824	129	
	合計	8,983,461	9,496,944	106	8,344,567	88	10,483,824	126	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		児童のべ登録数							
指標説明(式)		(国語・算数登録)+(英語登録)+(珠算登録)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人数	目標	250	250	100.0	300	120.0	300	100.0	
	実績	235	289	123.0	259	89.6			
指標名2		講座延開設回数							
指標説明(式)		(国語・算数延開設)+(英語延開設)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
数	目標	297	316	106.4	320	101.3	320	100.0	
	実績	285	329	115.4	313	95.1			

【効率性】

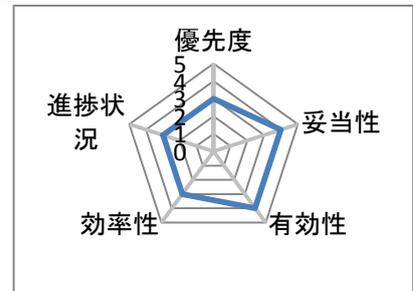
指標名1		児童一人あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷児童のべ登録数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	42358	41760	98.6	35036	83.9		0.0	
	実績	38227	32861	86.0	32218	98.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	家庭の経済的負担なしで希望者が参加でき、希望者に勉強できる機会を提供できた	4
	成果の向上	定期的な講師の打合せにより、有効な授業形態を作り上げていく体制となった。	
効率性	執行体制の効率性	効果を得るためには学校との連携を拡大していく必要がある	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	どの科目も2年間で定着することができた。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	年々、参加率が減少している要因の分析と事業の総点検が必要。講師ボランティアの確保。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	英語は小学校英語の復習と定着に向けて、カリキュラムの見直しを行った。

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010301020200		事業の種類	3		
年度	29	事務事業名	公民館管理事業		予算事業名	公民館管理事業	優先度	4
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課			
施策名(中)		いつでもどこでも学べる環境をつくる		担当課長	番匠 真由美	担当者名	勝山 護	
取組み事項		サービスの充実を図る		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		公民館環境整備事業			公民館維持管理事業			
根拠法規及び関連法規		社会教育法第5条						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	公民館施設運営						
	意図(どのような状態にしたいのか)	利用者のために公民館の維持管理をするとともに、公民館の運営について審議することで、各活動が行える状態にする						

2 事業の概要 Do

実施の概要		社会教育施設として管理運営を行う				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	施設	個所	5	5	5	5
	公民館運営審議会	回数	0	0	0	0

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.280	0.280	100	0.280	100	0.280	100	
	臨時職員	1.136	1.136	100	1.136	100	1.136	100	
支出内訳	人件費	5,301,798	5,419,778	102	5,524,376	102	5,795,384	105	
	事業費	12,834,745	19,636,109	153	22,159,647	113	15,039,000	68	
	合計	18,136,543	25,055,887	138	27,684,023	110	20,834,384	75	
財源内訳	国庫支出金		596,000	-	1,298,891	218	0	0	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	2,095,350	1,960,850	94		0		-	
	一般財源	16,041,193	22,499,037	140	26,385,132	117	20,834,384	79	
合計	18,136,543	25,055,887	138	27,684,023	110	20,834,384	75		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		施設利用者数							
指標説明(式)		年間利用者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人数	目標	57000	57000	100.0	57000	100.0	57000	100.0	
	実績	55183	55463	100.5	52339	94.4			
指標名2		公民館運営審議会開催回数							
指標説明(式)		回数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
回数	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			

【効率性】

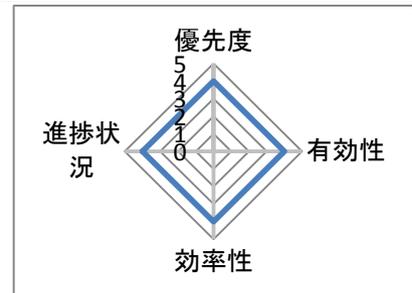
指標名1		1館当たりの維持管理経費							
指標説明(式)		年間維持管理経費÷施設数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	4292998	5245140	122.2	5814315	110.9	4166876	71.7	
	実績	3627308	5011177	138.2	5536804	110.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	施設の維持管理に努め、より施設の利便性を高め利用拡大に努めた	4
	組織運営・適正管理	公民館運営協議会設置公民館については、地域からの意見等を反映させている	
効率性	コストの節減	光熱水費等節約に努めている	4
	執行体制の効率性	公民館運営協議会において、地域からの意見等を反映させている	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	同好会等の利用の減少に伴い、使用料収入も減少している。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	施設の老朽化による維持管理費の増大が課題となっている。

配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010301020300		事業の種類	4		
年度	29	事務事業名	公民館活動事業		予算事業名	公民館活動事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会生涯学習課		
施策名(中)		いつでもどこでも学べる環境をつくる			担当課長	番匠 真由美	担当者名	勝山 護
取組み事項		サービスの充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		社会教育法第5条						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	施設を利用する市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	社会環境の変化に対応した学習ができる場、同じ目的をもった自主グループの活動の場の提供、地域の生涯学習、コミュニティ活動の場とする						

2 事業の概要 Do

実施の概要		社会教育施設として様々な事業を展開し、市民の生涯学習を支援する					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	定期講座	回数	545	638	603	650	
	定期講座受講者	人数	8401	10051	9184	10000	

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.040	0.040	100	0.040	100	0.040	100	
	臨時職員	3.400	3.400	100	3.400	100	3.416	100	
支出内訳	人件費	9,209,134	9,513,626	103	9,635,432	101	10,368,104	108	
	事業費	14,557,816	14,177,703	97	13,800,312	97	14,369,000	104	
	合計	23,766,950	23,691,329	100	23,435,744	99	24,737,104	106	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	23,766,950	23,691,329	100	23,435,744	99	24,737,104	106	
合計	23,766,950	23,691,329	100	23,435,744	99	24,737,104	106		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		定期講座参加者数							
指標説明(式)		参加者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人数	目標	10000	9000	90.0	10000	111.1	10000	100.0	
	実績	8401	10051	119.6	9184	91.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

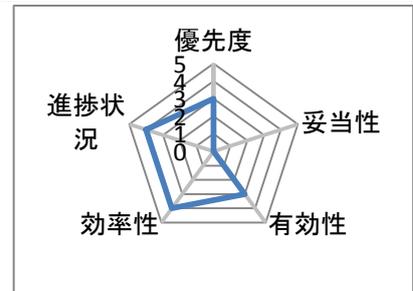
指標名1		参加者一人あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷参加者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	2426	2698	111.2	2449	90.8	2473	101.0	
	実績	2829	2357	83.3	2551	108.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	社会教育施設として幅広い講座を開催し、市民の生涯学習の支援を行った	3
	市民サービス	住民の幅広い学習ニーズに即応した事業を積極的に開催する	
効率性	コストの節減	講師謝礼等、近隣自治体との調整を図っている	4
	手段の最適性		
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	主催事業の参加者数増に努める



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	公民館ホームページ等、広報の充実を図る

配点	32.5
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010301020400	事業の種類	3
年度	29	事務事業名	多目的研修センター管理事業	予算事業名	多目的研修センター管理事業 優先度
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課
施策名(中)		いつでもどこでも学べる環境をつくる		担当課長	番匠 真由美
取組み事項		サービスの充実を図る		実施計画への記載	無
実施計画事業名		若狭野多目的研修センター環境整備事業		担当者名	勝山 護
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	多目的研修センター施設運営			
	意図(どのような状態にしたいのか)	利用者のために多目的研修センターの維持管理をする			

2 事業の概要 Do

実施の概要		社会教育類似施設として管理運営を行う				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	施設	施設	1	1	1	1

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.052	0.060	115	0.060	100	0.052	87	
	臨時職員	0.227	0.227	100	0.227	100	0.303	133	
支出内訳	人件費	1,306,131	1,392,315	107	1,432,110	103	1,616,310	113	
	事業費	2,070,865	2,068,489	100	2,246,775	109	2,776,000	124	
	合計	3,376,996	3,460,804	102	3,678,885	106	4,392,310	119	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	254,500	225,300	89		0		-	
	一般財源	3,122,496	3,235,504	104	3,678,885	114	4,392,310	119	
合計	3,376,996	3,460,804	102	3,678,885	106	4,392,310	119		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		施設利用者数							
指標説明(式)		年間利用者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人数	目標	10000	10000	100.0	10000	100.0	8000	80.0	
	実績	8724	7454	85.4	6566	88.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

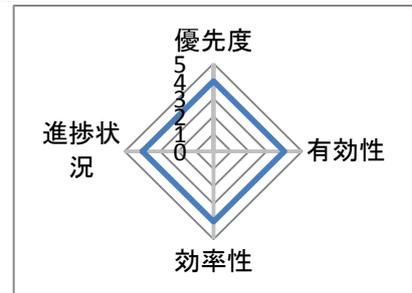
指標名1		維持管理経費							
指標説明(式)		事業費+人件費							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	4354135	4396324	101.0	4128356	93.9	4932310	119.5	
	実績	3376996	3460804	102.5	3678885	106.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	施設の維持管理に努め、より施設の利便性を高め利用拡大に努めた	4
	組織運営・適正管理	公民館と同様の取り扱いとしている	
効率性	コストの節減	光熱水費等節約に努めている	4
	執行体制の効率性	公民館と同様の取り扱いとしている	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	センター利用者に対し、受益者負担相当額を使用料として徴収する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	施設の老朽化による維持管理の増大が課題である。

配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010301020500		事業の種類	4		
年度	29	事務事業名	多目的研修センター活動事業		予算事業名	多目的研修センター活動事業 優先度		3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課			
施策名(中)		いつでもどこでも学べる環境をつくる		担当課長	番匠 真由美	担当者名	勝山 護	
取組み事項		サービスの充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	施設を利用する市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	社会環境の変化に対応した学習ができる場、同じ目的をもった自主グループの活動の場の提供、地域の生涯学習、コミュニティ活動の場とする						

2 事業の概要 Do

実施の概要		社会教育類似施設として様々な事業を展開し、市民の生涯学習を支援する				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	定期講座	回数	93	116	108	120
	定期講座受講者	人数	1221	1332	1398	1400

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.008	0.008	100	0.008	100	0.008	100	
	臨時職員	0.688	0.680	99	0.680	100	0.908	134	
支出内訳	人件費	2,138,182	2,181,466	102	2,223,976	102	2,986,096	134	
	事業費	2,777,932	2,728,470	98	2,709,232	99	2,746,000	101	
	合計	4,916,114	4,909,936	100	4,933,208	100	5,732,096	116	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,916,114	4,909,936	100	4,933,208	100	5,732,096	116	
合計	4,916,114	4,909,936	100	4,933,208	100	5,732,096	116		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		定期講座参加者数							
指標説明(式)		参加者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人数	目標	1500	1300	86.7	1400	107.7	1400	100.0	
	実績	1221	1332	109.1	1398	105.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

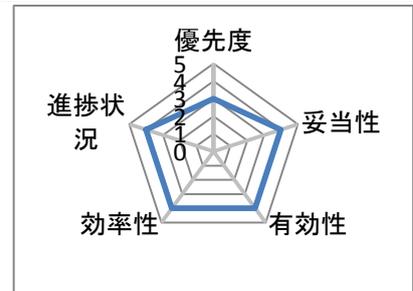
指標名1		参加者一人あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷参加者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3284	3825	116.5	3592	93.9	4094	114.0	
	実績	4026	3686	91.6	3528	95.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	社会教育施設として幅広い講座を開催し、市民の生涯学習の支援を行った	4
	市民サービス	住民の幅広い学習ニーズに即応した事業を積極的に開催する	
効率性	コストの節減	講師謝礼等、近隣自治体との調整を図っている	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	主催事業の参加者数の増加に努める



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	ホームページ等、広報の充実を図る

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010301020600		事業の種類	3	
年度	29	事務事業名	図書館管理運営事業		予算事業名	図書館運営管理事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会生涯学習課	
施策名(中)		いつでもどこでも学べる環境をつくる			担当課長	番匠 真由美	担当者名 桑本 健一
取組み事項		サービスの充実を図る			実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名		図書館管理システム更新			図書館維持修繕工事		
		図書館更新事業					
根拠法規及び関連法規		社会教育法、図書館法、相生市立図書館条例・同条例施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民の社会教育と文化の発展を図る					

2 事業の概要 Do

実施の概要		図書館への関心を高め、読書への理解を深めるとともに、館の適切な管理運営を行う				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	貸出利用者数	人	36398	34841	32548	32500
	会議室等利用者数	人	4506	2511	2481	2500
	蔵書冊数	冊	126220	128079	127102	127500
	登録者数	人	16045	16159	15772	16000

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	1.794	1.782	99	1.778	100	1.778	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	13,767,962	13,775,796	100	14,093,716	102	14,469,980	103	
	事業費	36,189,071	37,718,666	104	37,018,762	98	50,932,000	138	
	合計	49,957,033	51,494,462	103	51,112,478	99	65,401,980	128	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	49,957,033	51,494,462	103	51,112,478	99	65,401,980	128	
合計	49,957,033	51,494,462	103	51,112,478	99	65,401,980	128		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		住民一人当りの蔵書冊数							
指標説明(式)		蔵書冊数÷人口							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
冊	目標	4	4	100.0	4	100.0	4	100.0	
	実績	4	4	100.0	4	100.0			
指標名2		一日当りの利用者数							
指標説明(式)		(貸出利用者数+会議室等利用者数)÷開館日数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	135	135	100.0	135	100.0	123	91.1	
	実績	144	131	91.0	123	93.9			

【効率性】

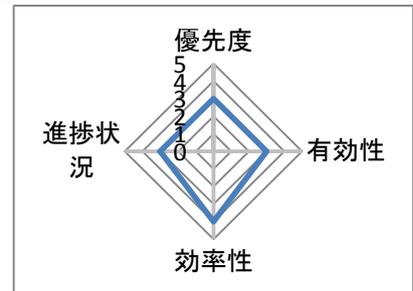
指標名1		利用者一人当たりの開館コスト							
指標説明(式)		図書館管理運営事業費÷(貸出利用者数+会議室等利用者数)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1100	1200	109.1	1200	100.0	1868	155.7	
	実績	1221	1379	112.9	1459	105.8			
指標名2		人口に占める登録者率							
指標説明(式)		登録者数÷人口×100							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	51	52	102.0	53	101.9	53	100.0	
	実績	53	53	100.0	53	100.0			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ホームページ等により、祝日開館、開館時間延長が市民に浸透してきた。	3
	組織運営・適正管理	図書館一部業務委託を実施し、コストの低減化を図りながら、サービスの向上に努めた。	
効率性	コストの節減	図書館一部業務委託により、人件費減を継続した。	4
	手段の最適性	図書館一部業務委託事業者と定期的に打合せを行い、利用者サービスの向上に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	民間のノウハウの導入により、利用者の利便性が図られていることから貸出冊数の増加を目指す。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	祝日開館、開館時間延長をさらにPRしていく。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010301020700		事業の種類	4	
年度	29	事務事業名	図書館活動事業		予算事業名	図書館活動事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課		
施策名(中)		いつでもどこでも学べる環境をつくる		担当課長	番匠 真由美	担当者名	桑本 健一
取組み事項		サービスの充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		社会教育法、図書館法、市図書館条例・同条例施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民の教育と文化の発展を図る					

2 事業の概要 Do

実施の概要		図書資料の充実、適正管理による利用者への読書活動啓発を行う				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	図書購入冊数	冊	4567	4197	4967	4500
	図書貸出冊数	冊	166391	161980	162868	163000
	15歳以下の貸出冊数	冊	27336	26832	27004	27000

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.866	0.887	102	0.860	97	0.856	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	6,824,666	7,031,971	103	7,008,592	100	7,143,768	102	
	事業費	8,349,056	8,367,245	100	8,268,277	99	8,170,000	99	
	合計	15,173,722	15,399,216	101	15,276,869	99	15,313,768	100	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	15,173,722	15,399,216	101	15,276,869	99	15,313,768	100	
合計	15,173,722	15,399,216	101	15,276,869	99	15,313,768	100		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		年間貸出冊数に占める児童書(文学・絵本)年間貸出冊数率							
指標説明(式)		$(\text{年間児童書(文学・絵本)貸出冊数} \div \text{年間貸出冊数}) \times 100$							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	21	21	100.0	22	104.8	22	100.0	
	実績	22	27	122.7	32	118.5			
指標名2		有効登録者一人当たりの年間貸出冊数							
指標説明(式)		$\text{年間貸出冊数} \div \text{有効登録者数}$							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
冊	目標	11	11	100.0	11	100.0	11	100.0	
	実績	10	10	100.0	10	100.0			

【効率性】

指標名1		一日当たりの貸出冊数							
指標説明(式)		貸出冊数(本館のみ)÷開館日数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
冊	目標	570	570	100.0	570	100.0	570	100.0	
	実績	584	560	95.9	566	101.1			

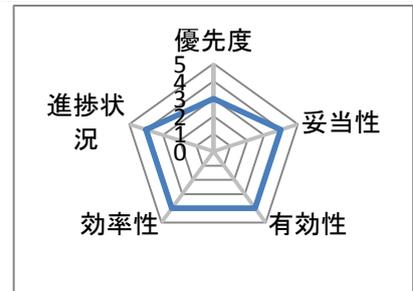
指標名2		一冊当たりの貸出コスト							
指標説明(式)		図書購入事業費(人件費を除く)÷貸出冊数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
冊	目標	55	55	100.0	55	100.0	50	90.9	
	実績	50	52	104.0	51	98.1			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	資料館の特別展に協力し、郷土資料室で保管している資料公開を行った。	4
効率性	手段の最適性	事業の重要性により、選書については業務委託項目から除外し、引き続き司書の専門性を生かした選書を行った。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	学校図書室を含む関係機関との連携の促進を図る。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	学校図書室向けの研修を実施する。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010302010100		事業の種類	5	
年度	29	事務事業名	青少年育成補助金事業		予算事業名	青少年育成補助金事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会生涯学習課	
施策名(中)		地域で青少年健全育成の環境をつくる			担当課長	番匠 真由美	担当者名 山本 健太
取組み事項		青少年健全育成体制を整備する			実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	青少年及びその保護者					
	誰(何)を対象として	青少年及びその保護者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	青少年のための生涯学習活動を推進することにより、青少年の健全育成を図る					

2 事業の概要 Do

実施の概要		青少年の団体に対し補助金を交付する					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	青少年芸術文化助成金	団体数	0	0	0	0	
	事業補助金交付団体	団体数	2	2	2	2	

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.024	0.024	100	0.024	100	0.024	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	524,822	529,266	101	556,344	105	532,696	96	
	事業費	205,000	205,000	100	205,000	100	205,000	100	
	合計	729,822	734,266	101	761,344	104	737,696	97	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	729,822	734,266	101	761,344	104	737,696	97	
合計	729,822	734,266	101	761,344	104	737,696	97		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		青少年芸術文化活動助成金							
指標説明(式)		団体							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
団体数	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2		事業補助金交付団体							
指標説明(式)		団体							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
団体数	目標	3	2	66.7	2	100.0	2	100.0	
	実績	2	2	100.0	2	100.0			

【効率性】

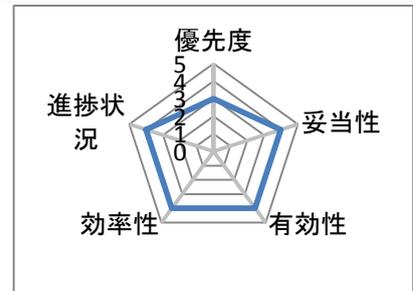
指標名1		青少年芸術文化助成金							
指標説明(式)		助成金÷団体数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	0	0	-	0	-		-	
	実績	0	0	-	0	-		-	
指標名2		事業補助金							
指標説明(式)		金額							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	200000	160000	80.0	160000	100.0	140000	87.5	
	実績	160000	160000	100.0	160000	100.0			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	少子化や団体加入に対する意識の変化等により、団体の会員数は減少傾向にあるが、青少年健全育成のための事業を支援することは必要である。	4
	期待する目標	様々な事業を展開することで、青少年の健全育成・地域の活性化に寄与している。	
効率性	コストの節減	団体の活動内容を検証しながら、補助金の額を検討していく	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	少子化により会員数が減少傾向である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	団体の活動に対する検証を続ける。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010302020100		事業の種類	4			
年度	29	事務事業名	こども学習センター管理事業		予算事業名	こども学習センター管理事業 優先度		3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課				
施策名(中)		地域で青少年健全育成の環境をつくる		担当課長	宮崎義正		担当者名	萩原達朗	
取組み事項		青少年活動の機会や場の充実を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
実施計画事業名		こども学習センター耐震改修事業							
根拠法規及び関連法規		相生市立こども学習センターの設置及び管理に関する条例							
事業の目的	誰のために(具体的に)	不登校児童生徒、青少年及び子育て中の保護者							
	誰(何)を対象として	施設管理							
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な施設管理							

2 事業の概要 Do

実施の概要		教育の拠点施設としてのこども学習センターの施設維持管理を行う。 こども学習センターには、子育て学習センター、少年育成センター、適応教室、教育研究所がある。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	維持修繕件数	件	3	3	1	3	

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.224	0.224	100	0.232	104	0.224	97	
	臨時職員	0.136	0.132	97	0.136	103	0.136	100	
支出内訳	人件費	2,363,806	2,380,390	101	2,519,912	106	2,508,408	100	
	事業費	2,815,316	2,751,726	98	6,383,041	232	5,778,000	91	
	合計	5,179,122	5,132,116	99	8,902,953	173	8,286,408	93	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,179,122	5,132,116	99	8,902,953	173	8,286,408	93	
合計	5,179,122	5,132,116	99	8,902,953	173	8,286,408	93		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)		設置目的を達成するための施設の維持管理が必要							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

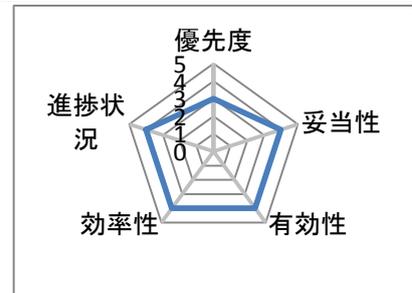
指標名1		各年度の決算額(千円)							
指標説明(式)		前年比(人的経費、臨時的経費を除く。)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3,038	3,000	98.7	2,995	99.8	2,978	99.4	
	実績	2,815	2,751	97.7	2,851	103.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ほぼ達成されているが、更なる向上の余地がある。	4
	市民サービス	現状を維持している。	
効率性	コストの節減	必要最小限のコストで運営している。	4
	手段の最適性	効率的な維持修繕を行っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	今後の長期的な施設の在り方、方針を決定する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	施設の在り方の方針を決定し、老朽化に伴う改修等を検討する。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010302020200		事業の種類	4	
年度	29	事務事業名	青少年育成事業		予算事業名	青少年育成事業 優先度	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会生涯学習課	
施策名(中)		地域で青少年健全育成の環境をつくる			担当課長	番匠 真由美	担当者名 山本 健太
取組み事項		青少年活動の機会や場の充実を図る			実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	青少年及びその保護者					
	誰(何)を対象として	青少年及びその保護者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	青少年のための生涯学習活動を実施することにより、青少年の健全育成を図る					

2 事業の概要 Do

実施の概要		げんキッズイングリッシュキャンプ、げんキッズチャレンジウォークを、体験事業として実施する。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	げんキッズイングリッシュキャンプ	人数	50	85	96	0	
	げんキッズチャレンジウォーク	人数	0	0	0	0	

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.452	0.428	95	0.388	91	0.408	105	
	臨時職員	0.400	0.400	100	0.400	100	0.400	100	
支出内訳	人件費	4,734,718	4,616,206	97	4,419,296	96	4,720,760	107	
	事業費	2,474,360	3,865,942	156	3,611,388	93	895,000	25	
	合計	7,209,078	8,482,148	118	8,030,684	95	5,615,760	70	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	500,000	850,000	170	992,400	117	0	0	
	一般財源	6,709,078	7,632,148	114	7,038,284	92	5,615,760	80	
合計	7,209,078	8,482,148	118	8,030,684	95	5,615,760	70		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		げんキッズイングリッシュキャンプ参加人員							
指標説明(式)		参加者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	50	100	200.0	100	100.0	0	0.0	
	実績	50	85	170.0	96	112.9			
指標名2		げんキッズチャレンジウォーク参加人員							
指標説明(式)		参加者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			

【効率性】

指標名1		げんキッズイングリッシュキャンプボランティア人員							
指標説明(式)		ボランティア人員数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	11	20	181.8	35	175.0	0	0.0	
	実績	17	38	223.5	29	76.3			

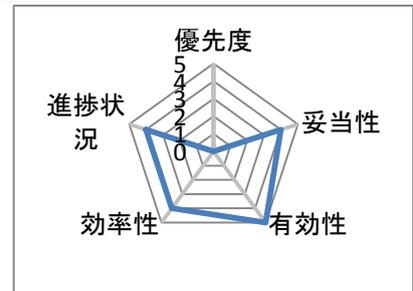
指標名2		げんキッズチャレンジウォークボランティア人員							
指標説明(式)		ボランティア人員数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	2回実施することで、申込者全ての参加を受け入れすることができた。	5
	市民サービス	子どものニーズに応える事業展開を行い、適切なサービス提供を行う。	
効率性	コストの節減	事業全体としては、参加者数に対し効率的に運営出来ている。	4
	手段の最適性	チャレンジウォークの内容をイングリッシュキャンプに取り入れ統合したことにより、子どもたちへの活動の幅が広がった。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
		げんキッズイングリッシュキャンプ廃止



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
		げんキッズイングリッシュキャンプ廃止

配点	32.5
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010302020300	事業の種類	4
年度	29	事務事業名	放課後子ども教室推進事業	予算事業名	放課後子ども教室推進事業 優先度
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課
施策名(中)		地域で青少年健全育成の環境をつくる		担当課長	番匠 真由美
取組み事項		青少年活動の機会や場の充実を図る		担当者名	勝山 護
実施計画事業名		実施計画への記載		無	主要事業の指定
				無	無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	小学校児童とその保護者			
	誰(何)を対象として	小学校児童			
	意図(どのような状態にしたいのか)	放課後に安心安全に活動できる場所の確保及び地域・世代間交流			

2 事業の概要 Do

実施の概要		小学校全学年を対象に、週2回から3回、放課後から午後4時30分(冬季は午後4時)まで、地域住民の協力の下、学校施設を利用し、安心できる学習の場や遊びの場を提供する。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	開設校	学校数	7	7	7	7

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.160	0.156	98	0.156	100	0.136	87	
	臨時職員	0.648	0.648	100	0.608	94	0.648	107	
支出内訳	人件費	3,174,686	3,213,222	101	3,176,592	99	3,264,264	103	
	事業費	2,039,963	2,035,914	100	2,106,631	103	2,511,000	119	
	合計	5,214,649	5,249,136	101	5,283,223	101	5,775,264	109	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	855,000	1,078,000	126		0		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,359,649	4,171,136	96	5,283,223	127	5,775,264	109	
合計	5,214,649	5,249,136	101	5,283,223	101	5,775,264	109		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		開設学校数							
指標説明(式)		学校数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
学校数	目標	7	7	100.0	7	100.0	7	100.0	
	実績	7	7	100.0	7	100.0			
指標名2		参加児童数							
指標説明(式)		延参加児童数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	15000	15000	100.0	15000	100.0	15500	103.3	
	実績	14620	14585	99.8	15074	103.4			

【効率性】

指標名1		受け入れ一校あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷開設学校数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	855752	829744	97.0	816243	98.4	825037	101.1	
	実績	744949	749876	100.7	754746	100.6			

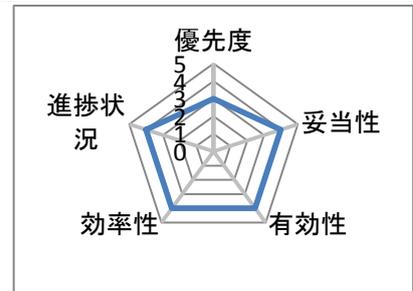
指標名2		受け入れ一人あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷延べ参加者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	399	387	97.0	380	98.2	372	97.9	
	実績	357	360	100.8	350	97.2			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	参加児童は横ばいの状況である。	4
	市民サービス	宿題や復習などの学び、体育館や運動場でのボール遊びや伝統遊びなど様々な活動を通して、地域のボランティアとの交流を図り、子どもの安全な居場所となっている。	
効率性	コストの節減	指導ボランティアの適切な配置により、無駄のない運営が行われた	4
	手段の最適性	指導ボランティアによる適切な運営が行われた	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	指導ボランティアの確保



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	入級児童数によるボランティアの適切な配置

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010302030100		事業の種類	1	
年度	29	事務事業名	補導委員活動事業	予算事業名	補導委員活動事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		地域で青少年健全育成の環境をつくる		担当課長	坂本 浩宣	担当者名	木本 博子
取組み事項		補導活動や相談体制の充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市立こども学習センターの設置及び管理に関する条例(平成14年条例第42号)					
事業の目的	誰のために(具体的に)	青少年					
	誰(何)を対象として	青少年					
	意図(どのような状態にしたいのか)	青少年の非行を防止し、その健全な育成を図ることを目的とする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		少年の補導、少年の非行防止、関係諸機関との連絡調整、青少年や家族の悩みに対し適切な助言と指導の充実を図る。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	補導回数	回	180	205	187	180	
	補導従事者数	人	854	937	955	900	

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.064	0.080	125	0.080	100	0.080	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	824,102	951,226	115	988,552	104	977,672	99	
	事業費	1,516,937	1,511,101	100	1,496,142	99	1,549,000	104	
	合計	2,341,039	2,462,327	105	2,484,694	101	2,526,672	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,341,039	2,462,327	105	2,484,694	101	2,526,672	102	
合計	2,341,039	2,462,327	105	2,484,694	101	2,526,672	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

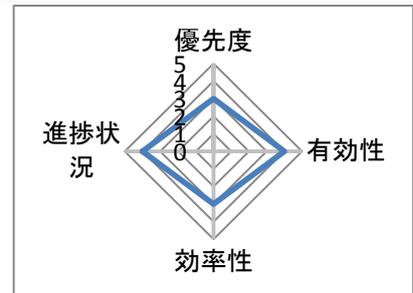
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	青少年の非行を防止し、その健全な育成が図れた。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	法律に基づいた青少年育成活動が効果的に実施できた。	
効率性	コストの節減	効率的なコストの運用が図れた。	3
	執行体制の効率性	効果的に活動体制により、効率的に行うことができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	多くの補導員の協力を得ているが、効率のよい新メンバーへの引き継ぎが必要。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	市民・学校等のニーズにあった補導時間の見直し。

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010302040100		事業の種類	1			
年度	29	事務事業名	青少年問題協議会運営事業		予算事業名	青少年問題協議会運営事業 優先度		3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会学校教育課			
施策名(中)		地域で青少年健全育成の環境をつくる			担当課長	坂本 浩宣		担当者名	木本 博子
取組み事項		地域ぐるみで健全育成を推進する			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		相生市青少年問題協議会設置条例 地方青少年問題協議会法(昭和28年法律第83号)第6条							
事業の目的	誰のために(具体的に)	青少年							
	誰(何)を対象として	青少年							
	意図(どのような状態にしたいのか)	青少年の指導、育成、保護及び矯正							

2 事業の概要 Do

実施の概要		青少年問題協議会において、青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する事項を調査審議し、関係行政機関相互の連絡調整を行う。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画

3 投入資源

		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.152	0.152	100	0.152	100	0.152	100	
	臨時職員	0.008	0.008	100	0.008	100	0.008	100	
支出内訳	人件費	1,502,670	1,514,602	101	1,565,320	103	1,572,520	100	
	事業費	46,200	98,900	214	83,600	85	122,000	146	
	合計	1,548,870	1,613,502	104	1,648,920	102	1,694,520	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,548,870	1,613,502	104	1,648,920	102	1,694,520	103	
合計	1,548,870	1,613,502	104	1,648,920	102	1,694,520	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

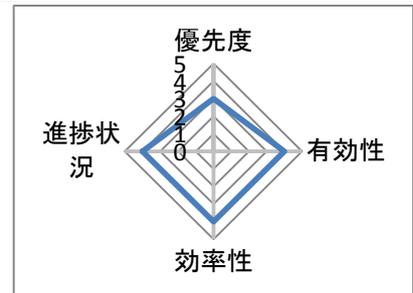
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	青少年の指導、育成、保護及び矯正。	4
	組織運営・適正管理	法律に基づいた実施体制により効果が得られた。	
効率性	執行体制の効率性	協議会の運営が効率的に行われた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	多様化する青少年問題に対応していき、他機関とも連携を強化していく。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010302040200		事業の種類	1			
年度	29	事務事業名	青少年健全育成活動事業		予算事業名	青少年健全育成活動事業 優先度		3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課				
施策名(中)		地域で青少年健全育成の環境をつくる		担当課長	坂本 浩宣		担当者名	木本 博子	
取組み事項		地域ぐるみで健全育成を推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		相生市立こども学習センターの設置及び管理に関する条例(平成14年条例第42号)							
事業の目的	誰のために(具体的に)	青少年							
	誰(何)を対象として	青少年							
	意図(どのような状態にしたいのか)	青少年の非行を防止し、その健全な育成を図ることを目的とする。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		中学校区青少年健全育成協議会の活動を通して、環境浄化活動や青少年の問題行動の未然防止を地域ぐるみで取り組む。また、青少年や家族の悩みに対し、適切な助言と指導の充実を図る。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	教育相談	件	97	86	70	80	

3 投入資源

		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.076	0.076	100	0.076	100	0.076	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	913,886	921,086	101	957,680	104	945,888	99	
	事業費	6,335,861	6,426,429	101	6,697,532	104	6,548,000	98	
	合計	7,249,747	7,347,515	101	7,655,212	104	7,493,888	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金		593,980	-	598,310	101	601,000	100	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	7,249,747	6,753,535	93	7,056,902	104	6,892,888	98	
合計	7,249,747	7,347,515	101	7,655,212	104	7,493,888	98		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		相談経費							
指標説明(式)		事業決算額÷相談件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	69350	66890	96.5	79778	119.3	81850	102.6	
	実績	65318	74726	114.4	95679	128.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	青少年の非行を防止し、その健全な育成を図ることができた。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	法律に基づいた育成活動が実施できた。	
効率性	コストの節減	効率的なコストの運用が図れた。	3
	執行体制の効率性	学識経験者等による執行体制により効率的活動の実施が行えた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

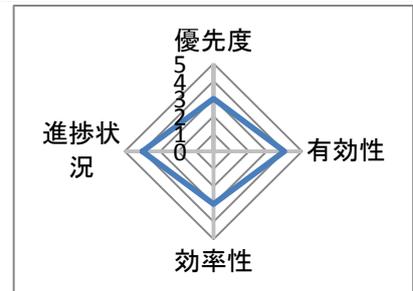
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	多様なニーズに応えることができる体制を構築する。



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010302040300		事業の種類	4	
年度	29	事務事業名	相生市民さわやかあいさつ運動事業		予算事業名	相生市民さわやかあいさつ運動事業 優先度 4	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	企画総務部企画広報課		
施策名(中)		地域で青少年健全育成の環境をつくる		担当課長	松尾 次郎	担当者名	岩田 智美
取組み事項		地域ぐるみで健全育成を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民総ぐるみのあいさつ運動を推進することにより、青少年の健全育成や社会性を育むとともに、地域の青少年は地域で守り育てる意識の高揚を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		あいさつ運動キャンペーン実施数				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	実施数	回	-	-	3	3

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.012	0.012	100	0.012	100	0.012	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	435,038	438,846	101	463,728	106	437,344	94	
	事業費		445,500	-	442,800	99	441,000	100	
	合計	435,038	884,346	203	906,528	103	878,344	97	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	435,038	884,346	203	906,528	103	878,344	97	
合計	435,038	884,346	203	906,528	103	878,344	97		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		市内啓発範囲							
指標説明(式)		あいさつ運動のぼり配付自治会数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
自治会	目標	23	23	100.0	23	100.0	23	100.0	
	実績	23	23	100.0	23	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

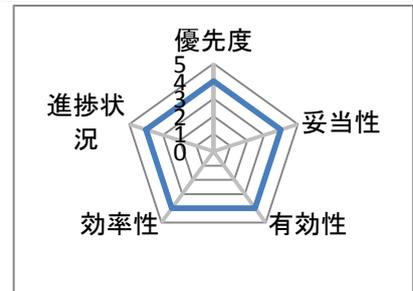
指標名1		あいさつ運動キャンペーン実施数							
指標説明(式)		あいさつ運動啓発のため実施したキャンペーンなどの数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
回	目標	-	-	-	3	-	3	100.0	
	実績	-	-	-	3	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	連合自治会が協力してくれることで、広い地域で啓発ができています。	4
	成果の向上	相生市民あいさつデーの設定、振り込み防止キャンペーン及びくらしの生活展でのキャンペーンにより多くの方に啓発ができた。	
効率性	手段の最適性	秋の交通安全運動とあわせて、消費生活研究会、自治会、小学校、幼稚園、保育所、高等学校、市内事業所で「相生市民あいさつデー」としてあいさつ運動を実施した。	4
	手段の最適性	啓発用のぼりの管理方法	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	企業へのあいさつ運動のひろがり、庁内及び各自治会単位での啓発用のぼりの管理方法



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	事業所へのあいさつ運動の啓発にむけて、商工会議所との連携を図る。

配点	32.5
総合評価	26